



湿地環境としての 新潟平野 その 生物多様性保全を考える

膨大な量の落ち穂が2万羽もの越冬ハクチョウを支える水田地帯、ラムサール登録湿地の佐潟、都市化の波に埋没しそうな鳥屋野潟、ガン・カモ・ハクチョウ渡来地として注目されながらラムサール登録に足踏み状態の福島潟。そして、福島潟にアイガモが泳いだり、考えさせられる野鳥への人工給餌、問題ある外来魚や、他地域からの動植物の移植放流の話などなど、新潟平野が抱える課題は尽きません。

期 日 2008年3月23日(日)
会 場 新潟県立環境と人間のふれあい館
(新潟水俣病資料館) 1階研修室

日 程
9:30～ 生物多様性保全ネットワーク新潟総会
10:00～ 受付・お昼の弁当注文受付(600円)・交流会参加受付
10:20～ 開会の挨拶 諸橋潔(生物多様性ネット・県環境連代表)

基調講演

【講師】紙谷 智彦 氏 (新潟大学農学部生産環境科学講座)
酒泉 満 氏 (新潟大学理学部 環境生物学講座)

12:30～14:00 昼食休憩 エクスカーション・・・福島潟自然学習園と水鳥観察(案内:福島潟野鳥の会)

14:00～16:30 パネルディスカッション

- ・樋口 正仁 氏 (五泉トゲソの会) :ちょっと待って! 動植物の移植、放流
- ・斉藤 敏郎 氏 (福島潟野鳥の会) :福島潟の野鳥から見た気になる環境変化
- ・長津 正男 氏 (有機稲作ねっとわぁく代表) :安全な作物と生きものを育む有機農業
- ・井上 信夫 (生物多様性保全ネットワーク新潟) :野生動物の尊厳を守るために(コーディネーター兼)

16:30 閉会の挨拶 松木 保 (生物多様性保全ネットワーク新潟副代表)

16:30～17:00 新潟県自然・環境保全連絡協議会総会

17:30～ 交流会: 豊栄駅前「松潟屋」Tel.025-387-3148 会費4,000円(学生半額) 17:20ごろマイクロバス出迎え

参加費 一般 500円(資料代)、学生無料

主催 生物多様性保全ネットワーク新潟, 新潟県自然・環境保全連絡協議会

共催 ねっとわーく福島潟, 福島潟野鳥の会, 有機稲作ねっとわぁく

後援 水土里ネット新潟(新潟県土地改良事業団体連合会), (財)こしじ水と緑の会, 新潟日报社



豊栄駅よりタクシー5分、徒歩30分
TEL:025-387-1450

総会案内 9:30～10:00 生物多様性保全ネットワーク新潟 16:30～17:00 新潟県自然・環境保全連絡協議会

生物多様性保全ネットワーク新潟事務局 井上 〒950-0892 新潟市東区寺山1-8-25
Tel: 025-270-2010 Fax:025-270-2011 Mail: Naturewk@basil.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://www.geocities.jp/biodiversitynetniigata/>

連絡・
お問い合わせ先

新潟県自然・環境保全連絡協議会事務局(環境連) 武田 〒951-8065 新潟市中央区東堀通二番町481 丸山ビル3F
Tel:025-228-2133 / Fax:025-224-8825 Mail: kankyoren@gmail.com
ホームページ: <http://www2.plala.or.jp/kanren2004/>